

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	松阪市	代表者名	竹上 真人		
担当者部署	デジタル未来戦略局	連絡先電話番号	0598-53-4363		
担当者役職	主任	担当者氏名	上村	連絡先E-mail	s.uemura@city.matsusaka.mie.jp
住所	515-8515 三重県松阪市殿町1340番地1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	家中 賢作
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	オープンデータとデータ利活用が一体であること。要となるシェアードデータの活用は職員にとって身近に感じられた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年7月6日	講演(実地)	有	令和5年6月13日	703
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月18日	支援・助言（実地）	10時30分	16時30分	60
				活動時間（分）	300
3-2. 派遣場所	会場名	松阪市産業振興センター	最寄駅	松阪駅	
	所在地	三重県松阪市本町2176	最寄駅からの交通手段	路線バス（三重交通）	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 新任係長級、新任課長級	人数 35人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） 令和5年7月にDX人材育成方針を策定し、階層別研修を位置付けた。データリテラシーの向上についての階層別研修を模索している。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX研修を体系的、計画的に実施するため人材育成方針及び具体的な年次研修計画について庁内で承認を受ける。データ利活用研修を必須研修として対象者・実施方法を決定し、データリテラシーの向上に向けたコンテンツとする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	集合研修（講義＋ワークショップ）	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	5年度研修計画において、データ利活用研修の受講対象者や具体的なメニューの決定ができた。育成方針について、庁内人材育成について、懸念点や助言を講師の経験から教示いただいた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	階層別に毎年実施することで全職員に対してデータリテラシーを向上させる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成方針に沿って体系的な人材育成が効果的に実施できていること ・データ活用研修によって全職員のデータリテラシーが向上していくこと 	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



